

この度は、統合開発環境 CS+をご使用いただきまして、誠にありがとうございます。

この添付資料では、本製品をお使いいただく上での制限事項および注意事項等を記載しております。ご使用前に、必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

この添付資料は、次のものを対象としています。

- ・ CS+ V8.12.00
- ・ CS+ for CC V8.12.00
- ・ CS+ for CA,CX V4.09.00

目次

第 1 章	動作環境	2
第 2 章	対応デバイス、ツール一覧	3
第 3 章	注意事項	4
第 4 章	インストールとアンインストールの注意事項	5
第 5 章	ユーザー情報の収集について	10
第 6 章	リリースノート	11

第1章 動作環境

CS+を使用するには、次の環境が必要になります。

1.1 ハードウェア環境

- ・ [ソフトウェア環境](#)に記載のソフトウェアが快適に動作するプロセッサ、メイン・メモリ
- ・ ディスプレイ : 1024×768 以上の解像度
- ・ インタフェース : USB2.0

1.2 ソフトウェア環境

次のソフトウェア環境に対応しています。

- ・ Windows 10 (64bit 版)
- ・ Windows 11 (CS+ for CC のみサポート)
- ・ Microsoft .NET Framework 4.6.2 + 言語パック(推奨)
- ・ Microsoft Visual C++ 2015 再頒布可能パッケージ Update 3 (x86)
- ・ Microsoft Edge WebView2 ランタイム
- ・ オンライン・ヘルプ : Edge, Chrome, Firefox (最新版を推奨)

第2章 対応デバイス, ツール一覧

CS+が対応するデバイス, ツールについてはWEBサイトに掲載しています。

こちらをご覧ください。

CS+製品ページ:

[CS+ 対応機能一覧 \(renesas.com\)](https://www.renesas.com)

スマート・マニュアルをサポートしているデバイスについては, スマート・マニュアル パネルで確認することができます。

詳細はこちらをご覧ください。

CS+オンライン・ヘルプ:

[スマート・マニュアル パネル](#)

第3章 注意事項

本章では、全般的な注意事項について説明します。

3.1 ルネサス製コンパイラについて

CS+をインストールすると無償評価版として使用できます。

無償評価版に関する制限事項や注意事項については、以下のWEBサイトに掲載しています。

- ・WEB サイト

<https://www.renesas.com/software-tool/evaluation-software-tools>

有償版を購入された場合は、ライセンス管理ツール*1でライセンスキーを登録して下さい。

*1 ノードロック・ライセンス : ライセンス・マネージャ

フローティング・ライセンス : フローティング・ライセンス・サーバ

3.2 Renesas Flash Programmer について

本ソフトウェアは、無償評価版です。

無償評価版に関する制限事項や注意事項については、以下のWEBサイトに掲載しています。

- ・WEB サイト

<https://www.renesas.com/software-tool/evaluation-software-tools>

Renesas Flash Programmer がサポートするマイクロコントローラについては、以下のWEBサイトに掲載しています。

- ・WEB サイト

<https://www.renesas.com/rfp>

第4章 インストールとアンインストールの注意事項

本章では、インストール、アンインストール時の注意事項について説明します。

4.1 インストール時の注意事項

4.1.1 ネットワーク接続に関する注意事項

ネットワークに接続していないホスト・マシンでインストールを行う場合は、Microsoft ダウンロードセンターを参照して、Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上をインストールしてから、CS+のインストールを開始してください。

4.1.2 管理者権限に関する注意事項

インストールする場合には、Windows の管理者権限が必要です。

4.1.3 実行環境に関する注意事項

インストールを実行する Windows には、Microsoft .NET Framework と Microsoft Visual C++ のランタイム・ライブラリがインストールされている必要があります。Microsoft .NET Framework と Microsoft Visual C++ のランタイム・ライブラリがインストールされていない場合には、CS+統合開発環境パッケージのインストーラでインストールを行います。

4.1.4 ネットワーク・ドライブに関する注意事項

ネットワーク・ドライブからのインストールはできません。
また、ネットワーク・ドライブへのインストールもできません。

4.1.5 インストール先フォルダ名に関する注意事項

インストール先フォルダ名に指定可能な文字は、Windows に準じます。ただし、次の文字は使えません。

;, #

%nn (n : 16 進数の数字)

Shift-JIS で表現できない文字

^【CC-RH/CC-RL】

また、空白文字ではじまるものと空白文字で終わるものは指定できません。

4.1.6 インストール後の必要ファイルに関する注意事項

インストール後にできる次のフォルダ（含むフォルダ以下のファイル）には、ツールが動作するために必要なファイル類がありますので削除しないでください。

C:¥Program Files (x86)¥Common Files¥Renesas Electronics CubeSuite+¥

4.1.7 機能の変更や修復に関する注意事項

インストール済みのツールに対して、機能の変更や修復を行う場合は、そのツールのインストール・パッケージを用意し、インストール用プログラムを実行すると起動する、プログラムの保守画面で、「変更」または「修復」を実行してください。

Windows の設定の「アプリと機能」や、コントロール・パネルの「プログラムと機能」の[変更]ボタンから実行するとエラーになります。

4.1.8 インストールフォルダの変更に関する注意事項

インストールしたツールのフォルダを変更したい場合には、一度全てのツールをアンインストールしてから、再度インストールしてください。

全てのツールをアンインストールするには、統合アンインストーラを起動して、表示されているツール類を全て削除してください。

4.1.9 USB ドライバのインストール時の警告画面に関する注意事項

USB ドライバをインストールする際、Windows セキュリティの警告画面が表示されますが、そのままインストールを続けてください。



4.1.10 USB ドライバのインストールに関する注意事項

IECUBE, IE850, MINICUBE, MINICUBE2, E1, E20, E2, E2 Lite 用の USB ドライバは、実際に機器を接続したときに、プラグ & プレイでインストールされます。

4.1.11 USB ドライバのアップデートに関する注意事項

IECUBE, IE850, MINICUBE, MINICUBE2, E1, E20, E2, E2 Lite を繋いだままの状態、USB ドライバのアップデートを行う場合は、一旦 USB を切断してください。

4.1.12 E1 エミュレータの USB ドライバに関する注意事項

E1 エミュレータ用の USB ドライバのインストール選択は、統合インストーラの最後で指定します。また、アップデート・マネージャでのアップデート機能には対応していません。

4.1.13 インストールするバージョンに関する注意事項

新しいバージョンがインストールされている場合には、古いバージョンがインストールされない可能性があります。

4.1.14 インストーラの起動に関する注意事項

日本語版以外の Windows で、インストーラを起動するパスに多バイト文字が含まれているとエラーとなりインストールを実行することができません。

4.1.15 インストール先フォルダの構成の変更に関する注意事項

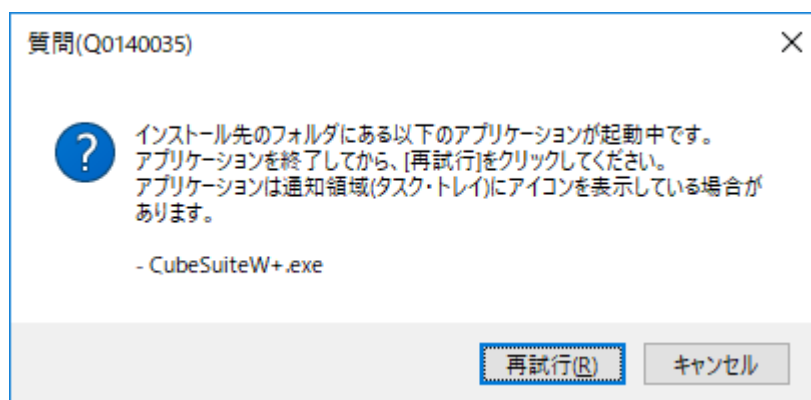
インストール先フォルダの構成を手動で変更（一部のフォルダを削除するなど）した場合、CS+ に関連付けられた .mtpj 拡張子を持つファイルをダブルクリックすると修復インストーラが起動することがあります。

拡張子の関連付け機能を使用せずに CS+ を起動してプロジェクトを読み込むか、CS+ 一式を再度インストールしてください。

4.1.16 ラピッドスタート機能に関する注意事項

インストール時に、Windows のスタートアップに CS+ を登録します。

また、インストール時に、通知領域（タスクトレイ）内にラピッドスタートしている CS+ が存在する場合、下記エラーとなります。該当アプリケーション終了後、再度インストールを行ってください。



4.2 アンインストール時の注意事項

4.2.1 管理者権限に関する注意事項

アンインストールするには、管理者権限が必要です。

4.2.2 アンインストールのフォルダに関する注意事項

ツールのアンインストールの実行順序によっては、フォルダが完全に削除されない場合があります。この場合、アンインストールした後に残ったフォルダは、エクスプローラ等で削除してください。

4.2.3 インストーラ以外での追加／修正に関する注意事項

ツール、および、リリースノート類をインストールしたフォルダに、本製品のインストーラ以外の手段によって、追加または修正されたファイルは、アンインストール時に削除できません。

4.2.4 USB ドライバのアンインストールに関する注意事項

USB ドライバをアンインストールすると、アンインストールする前に接続した実績のあるポートにはエミュレータを接続できますが、接続した実績のないポートにはエミュレータを接続できません。

4.2.5 Renesas E-Series USB ドライバのアンインストールに関する注意事項

統合アンインストーラでは、Renesas E-Series USB ドライバをアンインストールできません。

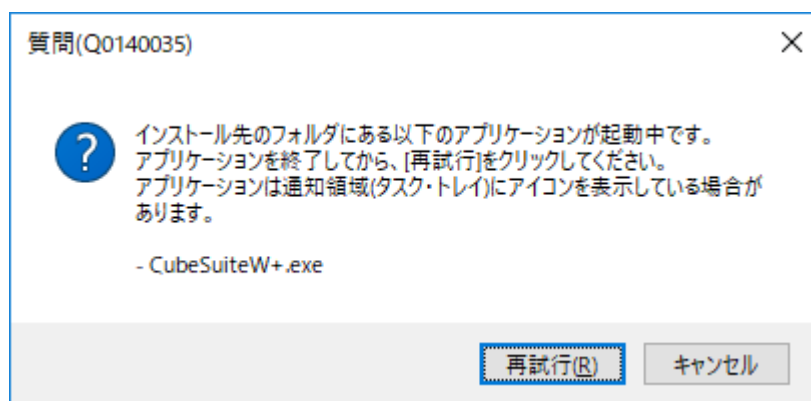
Renesas E-Series USB ドライバをアンインストールする場合は、コントロール・パネルの[プログラムと機能]の一覧から、[Renesas E-Series USB Driver]、および[Windows Driver Package - Renesas Electronics Corporation (E1USB) Renesas Emulator (xx/xx/xxxxy.y.yy.yyy)](※"x"は日付,"y"はバージョン番号)]を手動でアンインストールしてください。

なお、Renesas E-Series USB ドライバは、弊社 High-Performance Embedded Workshop(Hew)環境および Flash Development Toolkit(FDT)環境でも共通に使用するエミュレータ用の USB ドライバです。CS+と Hew または FDT がインストールされている PC 環境で、Renesas E-Series USB ドライバをアンインストールした場合、Hew および FDT 環境においてもエミュレータが使用できなくなりますのでご注意ください。該当エミュレータは下記になります。

E1, E20, E10A-USB, E10T-USB, E30, E30A, E100, E200F, E7, E8

4.2.6 ラピッドスタート機能に関する注意事項

アンインストール時に、通知領域（タスクトレイ）内にラピッドスタートしている CS+が存在する場合、下記エラーとなります。該当アプリケーション終了後、アンインストールを行ってください。



4.2.7 Microsoft 社製のツールに関する注意事項

Microsoft .NET Framework と Visual C++ ランタイム・ライブラリは、統合アンインストーラではアンインストールできません。Windows の設定の「アプリと機能」や、コントロール・パネルの「プログラムと機能」からアンインストールしてください。

第5章 ユーザー情報の収集について

本パッケージに含まれるアプリケーションは弊社サイトへアクセスを行うことがあり、その際、以下の情報が収集されログとして記録されます。

- ・アクセスした日時
- ・アクセスした URL, ファイル
- ・お使いの PC に紐づく一意のランダムな GUID
- ・お使いの Windows, CS+, ルネサス製コンパイラのそれぞれの種別とバージョン
- ・お使いのルネサス製エミュレータ, マイコンのそれぞれの種別
- ・ MyRenesas アカウントと紐づく一意の資格情報番号(MyRenesas にログイン時のみ)
- ・ Web ブラウザのクッキーと紐づく一意の識別番号(欧州からのアクセス時、クッキーを利用するか事前に許諾(オプトイン)を求めます。クッキーについては以下のプライバシーポリシー参照)

ログは弊社のプライバシーポリシーに基づいて管理されます。

弊社のプライバシーポリシーについては WEB サイトに掲載しています。

こちらをご覧ください。

プライバシーポリシー :

<https://www.renesas.com/jp/ja/privacy.html>

第6章 リリースノート

CS+を構成する各機能をお使いいただく上での制限事項および注意事項等は、リリースノートに記載されています。

ご使用前に、必ずお読みくださいますようお願い申し上げます。

なお、リリースノートはインストール後の Windows のスタートメニューより参照してください。

Renesas Electronics CS+ → - CS+ リリースノート (V8.07.00 以降)

ただし、本リリースノートはインストールされませんので、ホスト・マシンに保存してください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合、お客様の責任において、お客様の機器・システムを設計ください。これらの使用に起因して生じた損害（お客様または第三者いずれに生じた損害も含まれます。以下同じです。）に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 当社製品または本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害またはこれらに関する紛争について、当社は、何らの保証を行うものではなく、また責任を負うものではありません。
3. 当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を組み込んだ製品の輸出入、製造、販売、利用、配布その他の行為を行うにあたり、第三者保有の技術の利用に関するライセンスが必要となる場合、当該ライセンス取得の判断および取得はお客様の責任において行ってください。
5. 当社製品を、全部または一部を問わず、改造、変更、複製、リバースエンジニアリング、その他、不適切に使用しないでください。かかる改造、変更、複製、リバースエンジニアリング等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
6. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
—標準水準： コンピュータ、OA 機器、通信機器、計測機器、AV 機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
—高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通制御（信号）、大規模通信機器、金融端末基幹システム、各種安全制御装置等
当社製品は、データシート等により高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（宇宙機器と、海底中継器、原子力制御システム、航空機制御システム、プラント基幹システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、これらの用途に使用することは想定していません。たとえ、当社が想定していない用途に当社製品を使用したことにより損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。
7. あらゆる半導体製品は、外部攻撃からの安全性を 100%保証されているわけではありません。当社ハードウェア/ソフトウェア製品にはセキュリティ対策が組み込まれているものもありますが、これによって、当社は、セキュリティ脆弱性または侵害（当社製品または当社製品が使用されているシステムに対する不正アクセス・不正使用を含みますが、これに限られません。）から生じる責任を負うものではありません。当社は、当社製品または当社製品が使用されたあらゆるシステムが、不正な改変、攻撃、ウイルス、干渉、ハッキング、データの破壊または窃盗その他の不正な侵入行為（「脆弱性問題」といいます。）によって影響を受けないことを保証しません。当社は、脆弱性問題に起因したまたはこれに関連して生じた損害について、一切責任を負いません。また、法令において認められる限りにおいて、本資料および当社ハードウェア/ソフトウェア製品について、商品性および特定目的との合致に関する保証ならびに第三者の権利を侵害しないことの保証を含め、明示または黙示のいかなる保証も行いません。
8. 当社製品をご使用の際は、最新の製品情報（データシート、ユーザーズマニュアル、アプリケーションノート、信頼性ハンドブックに記載の「半導体デバイスの使用上の一般的な注意事項」等）をご確認の上、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他指定条件の範囲内でご使用ください。指定条件の範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障、誤動作の不具合および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
9. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は、データシート等において高信頼性、Harsh environment 向け製品と定義しているものを除き、耐放射線設計を行っておりません。仮に当社製品の故障または誤動作が生じた場合であっても、人身事故、火災事故その他社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
10. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制する RoHS 指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。かかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
11. 当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。当社製品および技術を輸出、販売または移転等する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他日本国および適用される外国の輸出管理関連法規を遵守し、それらの定めるところに従い必要な手続きを行ってください。
12. お客様が当社製品を第三者に転売等される場合には、事前に当該第三者に対して、本ご注意書き記載の諸条件を通知する責任を負うものいたします。
13. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。
14. 本資料に記載されている内容または当社製品についてご不明な点がございましたら、当社の営業担当者までお問合せください。

注 1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社が直接的、間接的に支配する会社をいいます。

注 2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注 1 において定義された当社の開発、製造製品をいいます。

(Rev.5.0-1 2020.10)

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。